



世界文化遺産登録

すごいぞ! 富士山

>> パンタナマー

第一回 富士山の歴史

今年6月に「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」の名でユネスコの世界文化遺産に登録が決まった富士山は、日本一の高さだけでなく、その姿の美しさからも多くの人に愛されています。この連載では、登ってもよし、まわりの観光地を訪ねてもよし、写真を撮っても遠くから見ても、また絵画や文学でも楽しめる富士山の魅力を探ります。

富士山はまだまだ若造

富士山が誕生したのは、約10万年前とされています。箱根山は約40万年前、ハワイ諸島の最も古い火山は約500万年前の誕生といわれているため、火山の中ではまだ若い火山といえます（ちなみに、今年8月に大規模な噴火があった桜島は2万6千年前の誕生です）。

富士山が現在の姿になったのは、約1万年前の縄文時代。今の富士山を20歳の若者と仮定すると、18歳の頃になります。

最初にあった「小御岳」の上に重なるようにできた「古富士」の頂上から大規模な噴火が起こり、溶岩が流れ出し、なだらかな斜面ができあがりました。

その後、小規模な噴火は繰り返しあったものの、約300年前の宝永の噴火を最後に、富士山の噴火はありません。

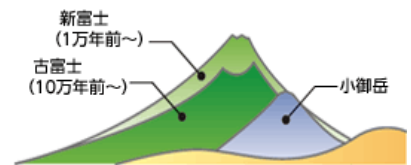
宝永の噴火はすさまじく、江戸の町にも砂や灰が飛んできました。富士山の裾野にあった須走村には石や砂が約4メートル降り積もったとの記録もあります。

この宝永の噴火があったのは、富士山が19歳11ヶ月過ぎの頃になります。

明治に入り女性の登山が解禁され、男女ともに富士登山ができるようになったのは、今から約140年前のこと。富士山20歳の誕生日の10日前になります。

火山の中では若造の富士山ですが、富士山の人生の中で私たち人間が関わってきた期間はさらに短く、ほんの少しだけなのです。

富士山の構造



参考図書：『富士山を知る事典』富士学会 企画/渡邊 定元・佐野 充 編、『図説 富士山百科』新人物往来社

[▲このページのトップへ](#)

| [サイトマップ](#) | [みなさんの声](#) | [Kissポート財団について](#) | [情報誌「Kissポート」について](#) | [品質・環境への取り組み](#) | [個人情報保護について](#)[PDF]

Kissポート財団

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティぶらざ

電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884 お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp

